令和3年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(理科)科目：(生物基礎) 対象：(第2学年1組～5組)

教科担当者：(1組：菅原浩司[Ⓔ]) (2組：菅原浩司[Ⓔ]) (3組：菅原浩司[Ⓔ]) (4組：菅原浩司[Ⓔ]) (5組：菅原浩司[Ⓔ])

教科・科目の指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。 ・生物学的に探究する能力と態度を育てる。
------------	--

	高校入試等の分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	自然の中で遊んだり、虫をとったりという経験が少ない生徒が多い。感覚として生物を理解することから始める必要がある。じっくり観察することなどもできていないようである。生物現象が身近でない生徒が多い。	生徒に身近な自然現象、生物に限定せず地学、物理、化学の領域も含め、テーマとする。たとえば、暑い日があれば、暑いとはなにか、湿度とはなにか、生物はどう対応するのかなどを一つずつ説明し理解できるようにする。毎日の自然現象の解説をする中で、自分で自然、生物に関心がむくように指導する。	いろいろな事象に目を向け、生徒の関心がある内容を精査、指導内容の検討をして授業に展開する。日々の研修のみでなく、今何が起きているかの情報収集、参考資料、提示できる資料の検討を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			